大泉桜高等学校 令和7年度 (3学年用) 教科 保健体育 科目 体育 ^{建体育} 科 目: 体育 単位数: 2 単位

教 科: 保健体育

対象学年組:第 3 学年 1 組~ 5 組

使用教科書: (なし

教科 保健体育 の目標:

【知 識 及 び 技 能】 体育について、下記の事項を身に付けることができるよう指導する。 体育について、下記の事項を身に付けることができるよう指導する。 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 体育について、下記の事項を身に付けることができるよう指導する。

科目 体育 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けることができるようにする。	を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、人人人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養うことができるようにする。

)

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	男女共臣 劉一次の運動と通して、体を動かす楽しきや心地よさを味む、体つくり運動の行い方。 体力の機成要素、実生活への取り入れ方などを理解するとともに、自己の体力や生活に なりては最終的と乗動が計画を立て、実生活に役立てることができるようによう。 【思考力、判断力、表現力等】生態にわたって運動を豊いに継続するための自己や仲間の問題を発見して必動的。計画が成果状に向けて取り組み方を主大するともに、自己 や仲間の予えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びた回かう)、影響性を対して、変態に主体的に見難むとともに、互いに助け 合い場合きおうとすること。一人一人の強いにないたが動ななどを大切にしようとすること。 、含量が成こります。	・ラジオ体操 ・体ほぐし運動のきづき ・アイスブレイク ・一人 1 台端末の活用 等	「知識・共戦別」リズムに乗ってのが解立ような重動を行うことを選して、気付いたり関わり 合ったりすると、緊急したり緊急を指して飲力したりする運動を行うことを選して、気付 いたり関わり合ったりすることができる。 「思考・判断・実別、生活株式や体力の程度を踏まえ、自己のねらいに応じた運動の計画を 立案することができる。 【主体的に学習に取り細む態度】仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い高め合おうと することができる。	0	0	0	2
	下手 上ので図明への使入などから数がかってるとかできるようにする。 上ので図明への使入などから数がかってるとかできるようにする。 128年、判断、大規則と推定したって運動を他が、連絡するためのチームや自己の課題 を発見し、合理的、計画的な解状に知けて取り組み力を工来するとともに、自己やチー 人の考えたことを整定に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性別、非数に主体的に取り組むとともに、フェアなアレイを大 にしようとすること。合意形成で異似ようとすること。 ーメールの無いなじたア レイなどを大切にし、 ようとすること、近れに助けるい高め合おりとすることなどや、健康・安全を確保する ことができるようにする。	アルティメット ・ディスクの投げ方、キャッチの 仕方 ・ゲームの理解	【知識・技能】・目降から相手降地の使入しやすい場所に移動することができる。 ・シュートやトライをしたり、パスを受けたりするために味力が作り出した空間に移動することができる。 「思考・判断・表現・選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、以中を存在を指摘することができる。 ・選起料がの金種を指する。チームや自己の新たな課題を発見することができる。 ・エキ的に学知が最初を組む態度〕・採技の学能に主体的に取り組もうとすることができる。 ・フェアなプレイを失切にしようとすることができる。	0	0	0	4
	ロ: ネット型 バレーボール 【水子】 客人間と社会と投票を分けている体育の ため、適格を通して同じ表表を4 ローデ 「相違及び球能】を着に広じたボールを操作や安定した用具の場件と連携した動 きによって歌いた場所をめるため版やすることができるようにする 【思考力、判断力、表現力等)及防などの自己やテームの環題を発見し、合理 「思考力、判断力、表現力等)及防などの自己やテームの環題を発見し、合理 「と考して、実施の取り加入がエボオらともに、自己や中間の考えた ことを他常に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 採状に自主的に取り組むとともに、プェアなブ レイを大切にしようとすること、作機などについての話合いに貢献しようとす。 に助けるい要え合おうとすることなどで、機嫌、安全を確保することができる ようにする。	・基本的なパス ・スパイク ・サーブ ・ゲームの理解 ・ゲーム ・一人1台端末の活用 等	第の事業を存化付けることができることを存金被事とする。 出職業及び採出 知業では、球形の全型の各種目において用いられる技術や職務、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあること、技能では、ボールを相手側のコートの空いた場所でれる」の生物形式で打ち返すができる。 (思考力、判断力、表現力等]ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面で、よりよいマナーや行為について、自己の活動を摂り返ることや球技の学園成果を開まて、自己に適した「する」みる、支える、知る」などの運動を健能して表したからの問わり方を見付けることができる。 接して表しむための問わり方を見付けることができる。 (どびに向かう力、人間性等)状況の学習に自まいまり、組み、相手を尊重するなどのシェアなアルくた状況にしようとすることと作者をあった。	0	0	0	4
1 学期	男女丼等 嫌、技能」短距離を・リレーでは、中間走の高いスピードを維持して速く走ることやパ トンの交流して吹水者を創業を表の距離を長くすること。共距離させは、ペースの変化して 加なこで走ることができるようにする。 【思考・判断・表現】生態にわたって運動を豊かに継続するための自己や中間の課題を を見し、合理的、当期的な解状に向いて仮り組の力を工夫するともに、自己や中間の 考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【デタに向かう)、角性等 【禁止板上工体的に乗り、関むとともに、勝敗などを治時 に受け出め、ルールやマナーを大切にしようとすること、次を関係的に別を受け自己 の責在を集とうしてること。一人の登れになどた難解や機能と別を受け自己 の責在を集とうしてること。一人の登れてはどた難解や機能を大切にしようとす ことなど、、複雑・安全を解析することができるようにする。	陸上競技 ・50m走 ・1000m走、1500m走 ・リレー	1 知識・状態)。高いスピードを接続して恋か中間をでは、体の裏下皮でに変を接地にか、キタリルとを参考や前に進わりするなどの動きで述ることができる。 ・最上述く起ることのできるベース配分に応じて動きを切り換えて起ることができる。 ・思り書・判断・実現)。課題解決の過度を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見することができる。 ・自己や仲間の課題と解決するための練習の計画を立てることができる。 ・自己や仲間の課題と解決するための練習の計画を立てることができる。 ・「主体的に学習に取り細か無力、性上接対に実体的に取り組立とともに、開切などそ合静に 受け出め、ルールマナーを失りにしようせすること、教練情報がに引き受けることを修 を集たそうとすること、一人一人の強いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなど ・、検算・安全を確保することができるようにする。	0	0	0	4
	要子 ※・技能』ゴール哲では、状況に応じたボール機能と空間を埋めるなどの動きによって 空間・の役人などから支防をすることができるようにする。 足害・判断・大型具 生産にかたって運動を費かに組接するためのチールや自己の展題 を発起し、合理的、計画的な解状に向けて取り組み方を工失するとともに、自己やチー の考えたことを他がに伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】球状に主体的に乗り組むとともに、フェアなアレイを大 切にしようとすること、合意形成で異似 ようとすること。 ーノー人の参いに応じたア レイなどを大切にし、 ようとすること、活いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保する ことができるようにする。	フットサル ・インサイドキック ・ドリブル、シュート ・ゲームの理解 ・ゲーム ・一人 1 台端末の活用 等	「知識・共戦」、自議から無手操地の侵入しゃすい場所に移動することができる。 シュートやトライをしたり、バスを受けたりするために味力が作り出した空間に移動する ことができる。 「思考・判断・共戦引、選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い血や 修正点を指摘することができる。 「建類解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見することができる。 「主体的に子習に取り組む態度」、味技の学習に主体的に取り組もうとすることができる。 ・フェアなプレイを入切にしようとすることができる。	0	0	0	4
	平子。 ・技能】ゴール室では、状況に応じたボール機能も空間を埋めるなどの動きによって 空間・心境人などから及防をすることができるようにする。 「思考・判断・実現上生経しかた。で駆動を強小に機能するためのチールや自己の展開 を発見し、合意的、計画的な解状に向けて取り組み方を工失するとともに、自己やチールの考えたことを総計に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 球状に主体的に乗り組むとともに、フェアなプレイを大 切にしまうますること、合意が成じ事故しようとすること。 ーノーノの率がなだしたフレイをとを大切にし、 レイなどを大切にし、 よいてあると、合意が成じま数しようとすること、一人一人の事がなだしたアレイをようとする。	アグラグピー ・パス、ラン ・ゲームの理解 ・ゲーム ・一人 1 台端末の活用 等	「知識・土味剤」。自携から相手薄地の使人しゃすい場所に移動することができる。 シュートやトライをしたり、バスを受けたりするために場方が作り出した空間に移動する ことができる。 「思考・判断・無限」。選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い血や 修正点を指摘することができる。 「建態無殊の過程を踏まえて、チームや自己の新たな鍵盤を見ますることができる。 「主体的に学習に取り組む態度」、呼技の学習に主体的に取り組もうとすることができる。 ・フェアなプレイを失切にしようとすることができる。	0	0	0	5
	男女長部 【知識、技能】記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多 【知識、技能】記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するとの多 飲な楽しさや客びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競 接会の仕方などを理解するともに、自己に適した単独の場等を適めて採べてとができる。 かって大きた、領外が方達く病がでかって、とができるようにする。 イ 平洋・ (本) たった、大きた、(本) たった。(本) できる。(本) でした。(本) でした	水泳 ・クロール・平泳ぎ ・背泳ぎ・バタフライ ・時間泳 ・教命の方法(着衣泳等) ・一人1台端末の活用	「知識・技能」クロールでは、水面上の側は、ローリングの勤ぎに合わせてリラックスして削力へ動かすことができる。泳ぎの返去に応じて、脚を横に向ける大きさき間節と呼吸動作を行うことができる。泳ぎの返去に応じて、脚を横に向ける大きさき間節と呼吸動作を行うことができる。アルのかを終わりに合わせて顔を水面上に出して呼吸を行い、キックの頭が終わいに合わせて顔を水面上に出して呼吸を行い、キックの頭が終わいに合わせて顔を水面上に出して呼吸を行い、キックの頭が終わいになって、一般を含く返さことができる。 【思考・判断・表現】選択した泳法について、合理的な動きと自己や中間の助きと比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えることができる。自己や仲間の技術的な疑問やその課題解決に有効な経管方法の選択について、自己の考えを伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】・水泳の学習に自主的に取り組もうとすることができる。・勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすることができる。	0	0	0	4
	第女共産 「加震・技術」記録の由上や確今及び自己や仲間の問題を検決するなどの多 「加震・辻や草がそを払い、技術の名称や件にか、体力の高か方、直離整数から のまなかけた力などの影響するとともは、自己は適した場合の事を着めて体ぐことができ るようにする。アクロールでは、手と皮の動き、再模のパランスを信め、他びのある動 他と安定したへて工程をはいたりできるようにする。インはできるようにする。イ 平株 ぎでは、手と皮の動き、再級のパランスを信め、伸びのある動作と安定したペースで臭 後いたりまるとながときるようにする。日息・判断・天型・足能にし たって運動を豊かな正規行るための自己や仲間の連鎖を収見し、合理的、計画的な解し に向けて取り組みた工夫するととは、自己や仲間の表とたとを参照に扱う相互ととも ができるようにする。【学収に向から力、人間性等】本体に主体的に取り組むととも ができるようにする。【学収に向から力、人間性等】本体に主体的に取り組むととも 「の際などを持ちに受け出め、ルールやマナーを大切にしようとすること、従業を信 側的に引き受け自己の責任を素たそうとすること。一人人の強いになじた直機や挑戦 大学にしようとすることととや、本体の事故的よに関するも巻を選中するなど健康・ 従金を編集すすことができるようにする。	水泳 ・クロール・平泳ぎ ・背泳ぎ・バタフライ ・時間次 ・教命の方法(着衣泳等) ・一人1台端末の活用	【知識・技能】プロールでは、水面上の開は、ローリングの動きに合わせてリラックスして前から動かっことができる。泳ぎの選手に応じて、顔を棚に向ける大きさを開節して呼吸 動作と行きる。プロインストラックでは関係している。 「本を棚に向ける大きさを開節して呼吸 関係と行きる。プロインストラックを持ち出ている。 「本のでは、ローク」で大きく進むことができる。 り終わりに合わせてグライドをとり、1回の周の動き(ストローク)で大きく進むことができる。 「思考・判断・表現】選択した泳法について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、原集や改善すべきポイントとその環由を仲間に伝えることができる。自己や仲間の技術 対な議論やその課題解決に有効な経管方法の選択について、自己の考えを伝えることができる。 「生体的に学習に取り組む態度」、水泳の学習に自主的に取り組もうとすることができる。 ・勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすることができる。	0	0	0	2

	第次終記 成人の運動を通して、体を動が中楽しきや心地上さを味む、体つくり運動の行い方。 体力の構成要素、発生活への取り入れ方などを理解するとともに、自己の体力や生活に なたし無難的な運動が到底を立て、実生に没せてさるとかできるようにより (思考力、判断力、表現力等) 生態にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間 の機能を発見した登機の、計画的な解決に向けており組みを主大するととが自己 で仲間の考えたことを他常に伝えることができるようにする。 (学びに向かう力、別性等) 体へり実施に主体的におり組むとともに、互いに助け 合い場め合おうとすること。 一人一人の強いほどにた動きなどを大切にしようとするこ と、含意形成に関払ようとすることなどを、健康・安全を確保すること。体つくり運 動に主体的に取り組むことができるようにする。	体つくり ・体ほぐし運動のきづき ・アイスプレイク ・ストレッチ、ヨガ ・一人1台端末の活用等	【知識・共総則、リズムに乗ってのが呼にような運動を行うことを通して、気付いたり限わり 合ったけずること、緊弾したり製造を削いて飲力したりする運動を行うことを通して、気付 いたり関わり合ったりすることができる。 【思考・判断・表現】生活権式や体力の程度を踏まえ、自己のねらいに応じた運動の計画を 変素することができる。 【主体的に学習に取り細む態度】仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い裏め合おうと することができる。	0	0	0	4
2 学	所女師》 「ネット型」でユス・パドミントン・点型から2番目選択 「加盟」開始を整ったサームや自己の開整を解決したりであなどの多数な楽したや夢 びを使払い、技術などの名称や行い方、体力の添かた。問題解決の方法、競技会の仕方 とど程度等するともに、作戦や状況に応じた技能で特別を連携レゲームを展開するこ とができるようにする。ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用泉の操作 を通見した動きによって回路や申り出すとかの交換をするとおができるように有る。 【思考・川勝・表別、生態したかって運動を豊かに撮終するためカテームや自己の課題 を見し、一部的、計画的な解決しかけ、定り組み方を大大するとともに、フェアなブレイを大 切びしようとすること、を告格に最大ることができるようにする。 【でいた向かう力、規門を引き抜け、主勢的に取り組むとともに、フェアなブレイを大 切にしようとすること。を がはていまります。 は、「よりとすること」を は、これに動けるい、側からおうとすることなどや、様 悪く全全権株することができるようにする。	バドミントン ・基本的な打ち方 ・シングルとダブルスのルールの 違い ・ゲームの理解 ・ゲーム ・一人 1 台端末の活用 等	「知識・状態」、ボールを指手側のコートの可慮のいない空間に疑念や高低などの変化をつけて打ち返すことができる。 ・ボールに回転をかけて打ち出したり、回転に合わせて返球したりすることができる。 【思考・判断・表現】を選択した運動について、チールや自己の動きを分析して、良い点や 修正点を指摘することができる。 ・課題外の通信を指すえて、チールや自己の動たな課題を発見することができる。 【建物料)学型に対している。 は実施のできるというできる。 ・フェアなブレイを大切にしようとすることができる。	0	0	0	7
胡	第次接触 ネット型 テエス・パドミントン・卓球から2番目選択 1回動 開助を参したりサームや自己の理難を解除したりするとから参佐を楽したや夢 びを使払い、技術などの名体や行い方、体力の部か方、理解媒の方法、競技会の仕方 などを獲解するともに、作戦や代政にびた技能で得り。 連携レゲームを展開することができるようにする、ネット型では、状況に応じたボール 機体や安定した用力の機体と連携した動きによって空間を作り出すなどの次防をすることができるようにする。 日巻・判断・大型 上部にレたって運動を置かに維持するためのチームや自己の課題 を発見し、合理的、計画的た解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを感形に成ることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性当】球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを次 がにしようとすること、会部形成に再始しましずること、一人一人の無い応じたたプレイなどを大切にようさせること、ないに助け合い痛め合おうとすることなどや、検 兼、安全を確保することができるようにする。	卓球 ・基本的な打ち方 ・シングルとダブルスのルールの 違い ・ゲームの理解 ・ゲーム ・一人 1 台端末の活用 等	「知識・状態」、ボールを相手側のコートの可慮のいない空間に疑念や画性などの変化をつ すべすりを違うことができる。 ・ボールに回転をかけて打ち出したり、回転に合わせて返球したりすることができる。 【思考・判断・表現)・選択した運動について、チールや自己の動きを分析して、良い点や 様正点を指摘することができる。 ・課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見することができる。 【主体的に学習に取り細む態度】・球技の学習に主体的に取り組もうとすることができる。 ・フェアなブレイを大切にしようとすることができる。	0	0	0	7
	所水路 「ネット型」テュス・バドミットン・森駅から 着自選択 「中国 一類吹きかりサームや名口の間軽を解決したサースを必め条を水上や客 ばを味か、技術などの名体や計・が、体力のあり、理想解決の方法、競技会の仕方 などを関するととは、作戦や代比にびた技能で得か。 連携・レゲームを展開することができるようにする、ネット型では、状況に応じたボールー 総件で安定した用の機性と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をするこ とができるようにする。 【思・判断・天型 上部に少たって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題 を発見、合理が、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチー の考えたことを感形に扱ることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 球状に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大 がにようますることができるようにする。 してどを大切にしようとすること、近いに助け合い高め合おうとすることなどや、 様 東・安全を確保することができるようにする。	テニス ・基本的な打ち方 ・シングルとダブルスのルールの 違い ・ゲームの理解 ・ゲームの理解 ・一人 1 台端末の活用 等	(知識、抹酸)、ボールを指手側のコートの守備のいない空間に観念や高度などの変化をつけて打ち返すとができる。 ・ボールに回転をかけて打ち出したり、回転に合わせて返球したりすることができる。 ・ボールに回転をかけて打ち出したり、回転に合わせて返球したりすることができる。 日息・判断・裏別、温沢した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正成を排摘することができる。 「証拠等決の過ぎまで、チームや自己の新たな課題を発見することができる。 「正体的に子製工取り組む態度」、非社の子製工主体的に取り組もうとすることができる。 ・フェアなプレイを大切にしようとすることができる。	0	0	0	7
	L						
	男英兵務 副 連絡やスポーツの技能と体力は、相互に関連していること。また、期待する成果、 成化した技能で体力の高め方があること。さらに、過度な角管や原制が広酷使は、けがや 疾病の原因となる可能性があることを理解させる。 任息力、判断、表現力等1 機能がメルーツの効果的な学習の仕方について、課題を 発見し、よりよい場所に向いて患事し判断するとともに、他者に伝えることができるよう 「学びに向かう力、人間性等」運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に 主体的に取り組むことができるようにする。	体育理論 ・スポーツにおける技術と体力 ・技術の上達過程と練習 ・効果的な動きのメカニズム	【知識・技能】連続やスポーツの技能は、体力と相互に関連しており、技能は、背景や体重などの体格や5万さなどの体力との関連で発揮されることを開発できる。 「思考・判断・表現」運輸やスポーツの効果的な学習の仕方について、概念と自己の状況を 関連付けたりして、自己や社会についての課題を発見することができる。 【主体的に学習に取り組む想点】運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に 主体的に取り組もうとすることができる。	0	0	0	4
	応じた技能や体力の高めがあること。さらに、通度な病育や巣棚的な糖性は、けがや 線内の原因となる前性とあることを無格させる。 【思考力、判断力、美現力等】運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を 見し、よりよい解決に向けて思考、判断計するとともは、他者に伝えることができるようにする 分にする。 【学びに向かう力、人間性等】運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に 【学びに向かう力、人間性等】運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に	・スポーツにおける技術と体力 ・技術の上達過程と練習	などの体格や巧みさなどの体力との関連で発揮されることを開発できる。 「思考・判断・表現」運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、概念と自己の状況を 関連付けたりして、自己や社会についての課題を発見することができる。 【主体的に学習に取り組む思度】運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に、	0	0	0	4
3 学品	びに大陸地や体力の高め方からること。さらに、過度な病毒や実際的な機能は、けが今 能のの原因となる可能性があることを理解させる。 【 18考力、判断力、表現均到「運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を 要し、よりよい機体に向けて思り、同時でもとさらに、他者に伝えることができるよ 上球に向かう力、人間性当】運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に 主体的に向かられ、人間性当】運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に 主体的に関から組みで表しまった。 別の運動を選して、体を動かす楽しさや心地よさを味わ、体つくり運動の行い方、 の関係を発し、ときの機能・計画が直接に向けて変り組みがままするとからに、自己の体力や生活に 「思考力、判断力、表現力当」生態にわたって運動を参いに選接するための自己や特別の機能を発し、企業的、計画が直接に向けて変り組みがままままさらに、自己 で付開の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 は、音楽が表している。 上でに向から力、別性当】体を「おわたって運動を参いに選接するための自己や特別の の報を発見した。 とき他者に伝えることができるようにする。 は、これが表しまった。 とう企業が表しまった。 とう企業が表しまった。 とうを発した。 は、主体的に取り組むとともに、直いに助け を小場のかおりとすることができるようにする。 とき、主体的に取り組むとともに、まないの を開いる例となどから交前やすることができるようにする。 「国際・判断・表別と無別とないできるようにする。 「国際・判断・表別と無別とないできるようにする。 「国の考えたことを名と」を記していての事態とよって を関した。 と思り、上の一分に、大阪に応じたボール機件と空間を埋めるなどの動きによって を関した。 と思り、上の一分に、大阪に応じたが一かできるよりにする。 「他の考えたことを名を記さることができるようにする。 「他の考えたことを名を記さることができるようにする。 「本の考えたことを名を記さることができるようにする。 「本の考えたことを名を記さることができるようにする。 「本の考えたことを名を記さることができるようにする。 「本の考えたことを名を記さることができるようにする。 「本の考えたことを名を記さることができるようにする。 「本の考えたことを名を記さることができるようにする。 「本の考えたことを名ではなりを表がしたができるようにする。 「本の考えたことを記している。」 「本の考えたことを記しることができるようにする。 「本の考えたことを記しまることができるようにする。 「本の考えたことを記しまることができるようにする。 「本の考えたことを記しまることができることができるようにする。 「本の考えたことを記しまる」と述り、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが	・スポーツにおける技術と体力 ・技術の上達過程と練習 ・効果的な動きのメカニズム 体つくり ・体ほぐし運動のきづき ・アイスブレイク ・ストレッチ、コガ ・一人1台端末の活用等 フットサル ・ドリブル、シュート ・ゲームの理解 ・ゲーム ・一人1台端末の活用 等	などの体格や巧みさなどの体力との関連で発揮されることを関係できる。 【思考・判断・表現】重軸やスポーツの効果的な学習の仕方について、概念と自己の状況を 間連付けたりして、自心や社会とついての課題を免見することができる。 【主体的に学習に取り組む形度】運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に、 主体的に取り組むうとすることができる。 【知識・技能】リズムに集ってかが弾ひような運動を行うことを造して、気付いたり間わり 合ったりすること、緊張したり緊急を振いて殴力したりする運動を行うことを造して、気付いたり間わり 合ったりすること、緊張したり緊急を振いて殴力したりする運動を行うことを達して、気付いたり間わり に見き・判断・実別」生活様式や体力の程度を踏まえ、自己のねらいに応じた運動の計画を 立案することができる。 【主体的に学習い取り組む形度】仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い高め合おうと することができる。 【記事・判断・表現】・選択した運動にいいて、チームや自己の助きを分析して、良い点や 修正点を指摘することができる。 ・シュートやトライをしたり、パスを受けたりするために味力が作り出した空間に移動する ことができる。 【思考・料断・表現】・選択した運動について、チームや自己の助きを分析して、良い点や 修正点を指摘することができる。 「運動株分の服を踏まえて、チームや自己の動きを分析して、良い点や 修正点を指摘することができる。 「運動株分の服を踏まえて、チームや自己の動きを分析して、良い点や 修正点を指摘することができる。 「主体的にデ習い取り組む形度】・時秋の学習・主体的に取り組もうとすることができる。				
3 学期	びに大陸地や体力の高め方からること。さらに、過度な病毒や実際的な機能は、けが今 能のの限度しなる可能性があることを理解させる。 【見考力、判断力、表現均当、運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、運題を 製し、よりよい機体に向けて思考し、判断するともに、他者に伝えることができるように は歩けにゆから力、人間性当】、運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に 主体的にゆから力、人間性当】、運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に 主体的にゆから対します。 対しては はなりの場成要素、発生活・の取り入れ方などを理解するともに、自己の体力や生活に なした環境が必要かが対象となて、実生活に表せてることができるようにする。 ないの構成要素、発生活・の取り入れ方などを理解するともに、自己の体力や生活に なした環境が必要かが対象となて、実生活に表せてることができるようにする。 ないの構成を発し、人間性当 体の状に向けて収り無力を正大するとともに、自己 や特別の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 を対している。 「学びに向かう力、人間性当】体の子の難能に主体的に変り組むともに、互いに助け か、高からおうとすること。 一人への強いにないた場合は、ませない。 は、主体的に取り組むととない。 は、生体的に取り組むとかできるようにする。 (26) など、生体的に取り組むとかできるようにする。 「26) は、一人へか管では、体化はないたが一人機能と変もを構めるなどの動きにかて ないる理解との個人などから次的をすることができるようにする。 と考望か、はかしまります。 は、とは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	・スポーツにおける技術と体力 ・技術の上達過程と練習 ・効果的な動きのメカニズム 体つくり ・体ほぐし運動のきづき ・アイスプレイク ・ストレッチ、ヨガ ・一人1台端末の活用等 フットサル ・インサイドキック ・ドリブル、シュート ・ゲームの理解 ・ゲーム	などの体格や巧みさなどの体力との関連で発揮されることを無難できる。 【思考・判断・表現」運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、概念と自己の収戻を 開連付けたりに、自己や社会についての課題を発見することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に、 主体的に学習に取り組む態度】運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に、 主体的に学習に取り組む態度」運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に、 「知識・技能」リスムに集って心が弾むような運動を行うことを進して、気付いたり間わり むったりすることができる。 【思考・判断、表現】主結様で体大のの程度を請まえ、自己のねらいに応じた運動の計画を 立案することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い高め合わうと することができる。 【記書・判断・表現】・選択した運動にリサるために味方が作り出した空間に移動する ことができる。 「思考・判断・表現」・選択した運動にロン、チールや自己の動きを分析して、良い点や 定正さき指導さることができる。 ・課題解決の過程を指まえて、チールや自己の動たな課題を発ますることができる。	0	0	0	4
3 学期	ないた技能や体力の高めがあること。さらに、過度な保育や実際的な機能は、けが今 能のの原因となる可能性もあることを理解させる。 【	・スポーツにおける技術と体力 ・技術の上達過程と練習 ・効果的な動きのメカニズム 体つくり ・体ほぐし運動のきづき ・アイスブレイタ ・アトレッチ、ヨガ ・一人1台端末の活用等 フットサル ・ドリブル、シュート ・ゲーム ・一人1台端末の活用 等 バスケットボール ・基本的なパス ・ドリブル・レイアップシュート ・ゲームの理解 ・ゲームの理解 ・ゲームの理解 ・ゲームの理解	などの体格や5万々さなどの体力との関連で発揮されることを無常できる。 【思考・判断・表現」運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、概念と自己の状況を 間連付けたりして、自己や社会についの課題を発見することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に、 生体的に関リ組もうとすることができる。 【知識、技能】リスムに集って心が弾むような運動を行うことを進して、気付いたり限わり 合ったりすることができる。 【型像、大展したり気候を移いて扱力したりする運動を行うことを進して、気付いたり限わり なだすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い高め合おうと することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い高め合おうと することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い高め合おうと することができる。 「生活体的に学習に取り組む態度】中間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い高め合おうと することができる。 ・シュートやトライをしたり、パスを受けたりするために味方が作り出した空間に移動する 「生活体的に学習に取り組む態度】・クロール・デール・デール・デール・デール・デール・ 「主体的に学習に取り組む態度】・デール・自己の動たな問題を発見することができる。 ・実施物に学習に取り組む態度、ファール・自己の動たな問題を発見することができる。 ・工業体的に学習に取り組む態度、ファール・ 「主体的に学習に取り組む態度」といるといてきる。 ・・ジュートやトライをしたり、パスを受けたりするために味方が作り出した空間に移動する 「起き、中間・表現)・選択した運動について、チールや自己の動きを分析して、良い点や にとができる。 ・ジュートやトライをしたり、パスを受けたりするために味方が作り出した空間に移動する ことができる。 ・ジュートやトライをしたり、パスを受けたりするために味方が作り出した空間に移動する ことができる。	0	0	0	4